

子どもの国 だより



2007.4.発行 vol.16



写真：19.3.29 交流会

- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」
 - ・ 小学生中学生:月曜～金曜日 午後2時～6時
- 青少年の自立支援事業「そら」
 - ・ 水曜日 午後6時30分～8時30分
- 青少年の健全育成のための事業
 - ・ 問題を抱えた子どもとその家族に対し、
随時相談・援助を行う
- 交流会
 - ・ 奇数月第3土曜日 午後6時～8時
- 「わくわく教室」
 - ・ 随時（但し土日と夏休み期間中）

★ ゆめの木教室

ゆめの木教室の1年間 ～2006年度～

今年度のゆめの木教室は「基礎学力の定着」が目標でした。計算や漢字の基礎学力の定着のため、夏休みに実施した漢字と計算の「ゆめの木検定」は、1つに合格するとシールがもらえます。子ども自身にも成果が目に見えるということで、がんばって取り組むことができました。そこで、2007年1月から、発案者のスタッフ2人がさらに改善を加えてバージョンアップした「ゆめの木検定」を実施しました。まず、子ども一人ひとりにシールをはるためのポイントカードを渡します。合格のシールが10個たまると、大きなキラキラシールをはることしました。問題については、種類を増やし、さらに学年ごとにまとめられました。すると、高学年でもさかのぼって復習することが可能になり、とても使いやすくなりました。

子どもたちはポイントカードにシールを集めることがうれしくて、特に低学年の子どもは毎日何枚もがんばって取り組みました。基礎学力の定着に役立ったと思います。しかし、課題もあります。シールを集めることに興味がなかったり、宿題が多くて宿題だけで終わってしまう高学年には、どうやって基礎学力の定着をはかっていくのか、今後の課題になります。

3月のある日、スタッフがとても少ない日がありました。すると、いつもは勉強に集中できず、騒いでしまいがちな高学年の男子たちが、状況を見て自主的に低学年の子の勉強を見てくれたのです。スタッフが頼んだわけでもありません。毎日接していても、心の成長を見ることは難しいことです。しかし、こんなふとした瞬間に子どもたちの成長を感じることができ、スタッフ一同で驚いたり、喜んだりすることができた1年でした。



ゆめの木検定 がんばりました！！

★ そら

「そら」はチェック・インから始まる

チェック・インとは、メンバー・スタッフともに、今の気持ちと今日話したい事を一人ずつ言っていく。その中で、これはと思うものを今日の主題にしたり、メンバー達の状態を知るのに役立つ場合もある。初めのうちは「眠たい」「別に話したい事はない」「疲れた」の言葉が多く聞かれたが、最近は様子が違う。「仕事を始めたけどおかしい事があるから、それを話したい」「今日、〇〇さんに会って話をしたので、その事を話したい」「ダウン症の子たちのボランティアの事を聞きたい」「友達関係で悩んでいる事がある」こんな事をそらで話すようになったのは、そら話し合いの継続で信頼関係が育ち、自分を表現でき、それを受け入れてくれる安全な場としてそらが位置づけられてきたこと。また、様々な体験をして、社会への疑問や不安をまわりの大人に聞いてほしいことの現われのように思う。動かなければ、不満も出ないが、春のスタート時点に比べて、色々な経験を重ねてきた証ゆえだと思う。この一年で大きな問題にも直面し、メンバー・スタッフ共々苦しい思いも共有した。一方で、大塚先生を招いて何回も「性・HIV・エイズ・妊娠」の事などを勉強した。この時も多くのことを学び、皆、大いに意見を交わす事ができた。メンバーの視点は的を得ていて、大人の視点とは大きく違い、スタッフも気づかされる事が多い。

今年度最後のそらで、みんなでふりかえりをした。「もっと休まずに来ればよかった」「これからはもっと多く参加したい」「大塚先生の話をもっと聞きたい」「仕事を頑張れたので、このまま頑張る」「そらはやっぱり落ち着く」こんな言葉を聞け、メンバーに少しずつ意欲がみえてきたのを感じられるのは、スタッフにとっても嬉しいふりかえりだった。

メンバーそれぞれが、自分の足で立って、それぞれの居場所を見つける事ができるまで、この「落ち着けるそら」を来年度も継続したいと思う。

★ 交流会

今年度は、交流会をもっと保護者への情報提供の場にしたいということで、子どもたちとは部屋も分け、保護者とスタッフが話し合う時間を設けました。ほぼ安定した保護者の参加があり、有意義な時間とすることができました。

9月の話し合いでは現在三好高校の1年生のJ君とご両親をゲストに招き、高校進学の実験談や今の心境などを話していただきました。11月はハローワーク豊田の方を招き「日本での働き方」をテーマに現在の外国人労働者の労働環境の厳しい現状や、日本で働いていく上でのアドバイスなどを話していただきました。保護者からも熱心な質問が多くあり、保護者の方々が多くの不安や疑問を抱えながら働いているということが感じられました。1月は「子育て」というテーマで、ゆめの木スタッフである池田マルシアさん、藤本真理さんから日本での働きながらの子育て、学校での語学指導員という経験の元に、「もっとたくさんの時間を子どもと一緒にすごして欲しい。」などの話をしていただきました。保護者からは子どもの学習に関する不安や、高校、大学進学に関する疑問などがあり、池田さん、藤本さんと話しこむ姿が見られました。3月も引き続き池田さん、藤本さんを囲み、言語の問題について一緒に考えました。保護者の方々は子どもたちが母国語を忘れていっていることに不安を持っており、これが今後の親子間のコミュニケーションにも影響が出てくるため、話し合いで簡単に答えの出る問題ではありません。それでも、保護者とスタッフが話し合い、考えを共有することに大きな意味があるのではないかと思います。

来年度は交流会の企画から保護者に参加して頂こうと考えており、保護者の方々にもより多く参加していただける活動を目指していきたいと思っています。

お母さんたちが話し合いをしている間、子どもたちは工作やゲームをして過ごしました。9月にビーズで作ったブラジルと日本の国旗のバッジは、子どもたちにもスタッフにも大好評でした☆ 3月は「名前ビンゴ」と「伝言ゲーム」で盛り上がりました。交流会には、子ども達の小さな弟や妹も参加してくれます。K君が弟を大事に膝に抱えて、弟の分まで一緒にゲームをする姿は、とても微笑ましかったです。

また、この3月で子どもの国を卒業されるスタッフのお別れ会では、子どもたちがY君のキーボードの演奏に合わせて「世界に一つだけの花」と卒業式の歌をプレゼントしました♪

春から中学生になるMちゃんの指揮をする姿も決まって、みんなで笑顔のお別れ会となりました。



伝言ゲーム



おいしいね！



名前ビンゴ

★ 卒業されるスタッフのコメント

河合麻衣子 さん

ゆめの木教室で活動させていただく中で私が最も感動したことは、スタッフの方々の子どもたちに対する愛情と、それに応えるように成長していく子どもたちの様子です。

スタッフの方々は会議や日々の活動の中で、常に子どもたちの成長を願い、最善の方法を考えて実践しています。子どもの個性や状況に対応した支援方法は、唯一の正解というものではなく、常に改善していくものと再確認しました。

ゆめの木教室は、外国籍の子どもたちが自信を持って学校生活をおくり、将来自立した社会人となるための大きな支えであると思います。言語の習得や基礎学力の定着といった学習面は、ゆめの木教室の柱であると思いますが、子どもたちは努力を継続する精神力や、人間関係の中で育まれた思いやりなど、生活面においても大きく成長していると感じました。

私はこの活動を通して、他のスタッフの方々や子どもたちから、教育の素晴らしさ、子どもたちの魅力を教えていただきました。今後もこの貴重な経験を生かし、共生について考えていきたいと思っています。



鈴木あゆ美 さん

「ゆめの木教室ではいろいろな子どもたちと、勉強をしたり、遊んだりとても楽しく過ごせました。ちょっと生意気な子や手を焼かせる子もいましたが、どの子もとてもしっかりした子たちだったなあと思います。またスタッフのみなさまからも、日々の活動やスタッフ会議のときなどとてもためになるお話がたくさんきけて、有意義で楽しい時間が過ごせました。ここで学んだことは、私にとっては本当に貴重で大切なことだと思っています。1年間本当にありがとうございました。」



ありがとうの気持ちをこめて歌ったよ♪



これからもがんばってください☆



NPO 法人 子どもの国

ホームページ <http://www.kodomonokuni-aichi.org/>

メールアドレス kodomonokuni1999@yahoo.co.jp



〈ゆめの木教室〉

思春期は、からだや心が大きく変化する時期です。そんな思春期を迎える子どもたちに、からだと心がどう変化していくのかを正しく理解してもらい、自分のからだの成長を前向きにとらえてほしいと考え、性の学習を実施しました。以下その内容を少し紹介します。

- 12～13歳ごろになると、下垂体というところからそろそろ大人になる準備をしなさいというスイッチが入ります。男の子は男性ホルモンが、女の子は女性ホルモンが体中にいきわたって、見た目だけでなく、からだの内部でも様々な変化がおきます。
- 男の子の変化・・・精巣で精子が作られ始め、射精がおこります。
- 女の子の変化・・・卵巣で卵子が成熟し始め、月経がおこります。

特に大事

性器はあたらしいのちをつくる大切なところなので、

- ①清潔にする ②乱暴にしない ③自分だけの場所なので大切に
(人に決してさわらせない)をおさえました。

〈そら〉

「わたしは世界にたった一人しかいない大切な存在なんだ」という気持ちをもってほしいという思いで、3回実施しました。

1. エイズについて

セックスによってうつる病気が性感染症です。今、若い人の間で特に多いのがクラミジアです。エイズも性感染症の1つです。HIV感染とエイズの違いの説明を聞き、感染経路の確認をしました。1つ目は性行為、2つ目は血液感染、3つ目は母子感染です。問題は性行為での感染。予防方法としては、コンドームが有効な手段です。

- ・決して自分には関係ないことではないんだな。
- ・検査にいきたいなと思った。 → 実際、何人かの人が検査に行きました。

2. 妊娠と避妊

自分のからだを知ること、特に女の子は月経の仕組みをきちんと知っておくことは大事です。前の月経の始まった日から次の月経の前日までの日数を月経周期といい、25日～28日が正常。なぜ、月経がくりかえされるか、そのメカニズムを詳しく学習しました。妊娠のサインは月経がないということに納得。

「好き」な気持ちとセックスの関係についてもみんなで考えました。

「いつ?」「だれと?」きめるのは自分自身です。じゃあ、自分で決めるためには何が必要でしょう。

- ① 自分のからだのこと、相手のからだのこと知っていますか? ②相手と対等な関係でいられますか? ③相手ときちんと話し合うことができますか? ④避妊、性感染症の予防が取れますか? ⑤妊娠したらどうするか覚悟ができていますか?

- ・今日はとってもすごく勉強になりました。初めて知ったことがいっぱいありました。人間のからだはやっぱりすごいなと思いました。自分のからだは大切にしようと思いました。 ・妊娠したら困るのはわたしだから、望まないセックスはしないでおうと思いました。

3. カレ・カノとのいい付き合いかた

あるカップルのロールプレーをしたり、「デート作法度」チェックをしたりしながら、どんな付き合い方がいい関係かをみんなで討論しました。カップルのあり方に対して多くの意見がでました。お互いの生き方、考え方を尊重し合える関係を作ってほしいです。

最後に、自分のいいところ探しをしました。そして、友だちのいいところ探しもしました。日ごろ何気なく付き合っている、このように言葉に出してお互いのいいところを認め合うことは、とても大事だと思いました。